

## 授業科目

## 臨床医学II

担当教員名 遠藤 和男、 齋藤 泰晴	対象学年	3	対象学科	健康
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

## ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	

## 授業の概要

・臨床医学 (I) に引き続き、基礎医学で学んだ臨床医学の入門的知識と総論的事項の理解を土台にし、具体的疾患の医学的側面（病態生理、症状、診断など）を学習する。  
・治療に用いられる『クスリ』について学ぶ。

## 授業の目的

- ・薬物の体内動態、薬物の相互作用を理解する。
- ・医学基礎、臨床医学 (I) で学んだ疾患で用いられる薬物の特徴を理解する。

## 学習目標

- ・主要な疾病の概念と病態を説明できる。
- ・『クスリ』の定義と特徴、および薬物の体内における動態を理解する。
- ・『クスリ』の相互作用（薬物間および薬物食品間）について学ぶ。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	クスリ・総論 (1) 薬物の定義、特徴、薬物動態	講義	遠藤 和男
2	クスリ・総論 (2) 薬物相互作用・簡易懸濁法など	講義	齋藤 泰晴
3	クスリ・各論 (1) 神経・精神系に作用する薬	講義	齋藤 泰晴
4	クスリ・各論 (2) 循環器・腎・泌尿器系に作用する薬	講義	齋藤 泰晴
5	クスリ・各論 (3) 代謝系に作用する薬（糖尿病、脂質代謝異常など）	講義	齋藤 泰晴
6	クスリ・各論 (4) 消化器系・呼吸器系に作用する薬	講義	齋藤 泰晴
7	クスリ・各論 (5) 抗炎症薬・抗アレルギー薬・抗菌薬	講義	齋藤 泰晴
8	クスリ・各論 (6) 臨床医学IIまとめ	講義	齋藤 泰晴

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料	プリント					

## 評価方法

- 1) 期末試験 2) 小テスト 3) レポート

## 履修上の留意点

授業へ積極的に参加しているかを考慮する。  
集中講義形式で行う。

## オフィスアワー・連絡先

授業内容の質問・相談がある学生は、所属学科・学年・学籍番号・氏名・用件を記入の上、office-hour@nuhw.ac.jpへご連絡ください。